

第12回認知神経リハビリテーション学会学術大会

『行為の回復 —新たな生活へと旅立つ準備—』

2011年9月2日・3日

大阪国際交流センター

学会長：本田慎一郎

準備委員長：呉胤美

主催：日本認知神経リハビリテーション学会

学会一日目 2011年9月2日（金） 受付9:15～

10:00～10:05 イントロダクション 認知の樹

10:05～11:30 ■特別講演

「行為へのまなざし：他者行為観察と自己行為生成のダイナミクス」

山田憲政（北海道大学教授）

11:30～12:30 ■学会長講演

「行為の臨床：口腔内左半側空間無視」

本田慎一郎（ヴォーリズ記念病院）

13:30～14:30 ■一般演題① 演題番号奇数（韓国演題5題）

14:30～15:30 ■一般演題② 演題番号偶数（韓国演題5題）

15:50～17:00 ■認知カフェ：「セラピストはどのようにして行為を回復させるか？」

司会：宮本省三（高知医療学院）・他

17:00～18:30 ■シンポジウム 「右片麻痺の行為、左片麻痺の行為」

司会：沖田一彦（県立広島大学）、本田慎一郎（ヴォーリズ記念病院）

シンポジスト：内田成男（富士リハビリテーション専門学校）

宮口英樹（広島大学）

高橋昭彦（高知医療学院）

森岡周（畿央大学）

富永孝紀（村田病院）

19:00～ ■レセプション（大阪国際交流センター内）

学会二日目 2011年9月3日（土） 受付9:00～

9:20～12:30 ■特別企画
『臨床講義 リハビリテーション訓練室からの報告ー』

- 9:20～10:05 臨床講義（Ⅰ）
- ・第1会場 「相互浸透と歩行の創発に現れる脳性麻痺児の行為」
木村正剛（北海道立子ども総合医療・療育センター）
 - ・第2会場 「メンタライジングの発達における心の理論成立を目標とした行為（12歳CP）」
西村朋浩（SKY整形外科クリニック）
 - ・第3会場 「中手骨骨折2例（50歳代女性と高校球児）の行為」
川田徳司（阪堺病院）

- 10:05～10:50 臨床講義（Ⅱ）
- ・第1会場 「左前・側・頭頂葉病変の症例が発症早期からの獲得した表象能力で紡いだ歩く行為」
沖田学（愛宕病院）
 - ・第2会場 「足関節捻挫後（CRPS）の行為」
江草典政（島根大学医学部附属病院）
 - ・第3会場 「痺れのある視床出血患者の手の行為」
首藤康聡（岡崎南病院）

- 11:00～11:45 臨床講義（Ⅲ）
- ・第1会場 「パーキンソン病患者の行為
～神経生理学・教育学的視点とすくみ足に対する新しい仮説～」
奥埜博之（摂南総合病院・沼津リハビリテーション病院）
 - ・第2会場 「脚がわかる！から獲得できる行為～安定した歩行の獲得を目指して（整形）」
平川善之（福岡リハビリテーション病院）
 - ・第3会場 「上肢運動器疾患と介入前後の行為」
西谷浩史（薩摩郡医師会病院）

- 11:45～12:30 臨床講義（Ⅳ）
- ・第1会場 「高次脳機能の視点から見た小脳機能の行為」
宮口英樹（広島大学）
 - ・第2会場 「歩行における知覚の中の行為（片麻痺）」
金森宏（永生クリニック）
 - ・第3会場 「私にとって、意味のある身だしなみという行為（片麻痺）」
内山将哉（神戸徳洲会病院）

13:30～13:55 ■総会（学会員のみ）

14:00～15:30 ■教育講演
「子どもの行為の発達障害」
ーピサ・ヴィゴツキー認知神経リハビリテーションセンターの臨床よりー
高橋昭彦（高知医療学院）

15:30～ フィナーレ

